

ReaD システムのリニューアル

1. 目的

情報登録および検索の利便性向上や、網羅性、速報性向上を目的として、ReaD システムのリニューアルを実施した。

2. 主な見直し・開発項目

1) データ項目の見直し

研究機関、研究者、研究課題、研究資源の各研究活動情報について、データ項目の見直しを行った。研究機関、研究課題、研究資源については項目の削減・統合を行い、研究者については研究業績を中心に細分化や項目追加を行った。

2) ReaD 調査方法の変更

電子メールを登録している研究者に対しては、電子メールで更新依頼を送付し、そこからオンライン編集機能を利用して更新していただくシステムを構築した。電子メールを登録していない研究者へはオンライン編集用 ID のお知らせを郵送している。研究機関の機関管理者が、自機関所属の研究者の登録・更新状況を把握することができる機能を追加した。

3) データ交換

従来のファイル形式に加え CSV 形式を正式採用し、新たに XML、TSV 形式を使用可能とした。また、上記 XML、CSV、TSV 形式の研究機関用のデータチェックツールをリリースした。

4) オンライン編集機能の改善

ユーザビリティの観点からオンライン編集の画面遷移を見直した。また、情報登録者による自身のデータのダウンロード/アップロードを可能にした。ダウンロードしたデータを編集したり、Excel 形式で出力することができるツールをリリースした。

5) 検索機能の改善

検索性能の改善を行った。また、画面遷移、デザインの変更を実施しアクセシビリティを向上させた。

6) ハードウェアの更新

最新のハードウェアに更新した。

内容は平成 20 年度時点

以上